

3Q-Wall工法研究会 会報

No.10 -2012.11

活動状況 報告

昨年 12 月の総会で承認されました事業計画に基づく活動状況の概要、等についてご報告致します。

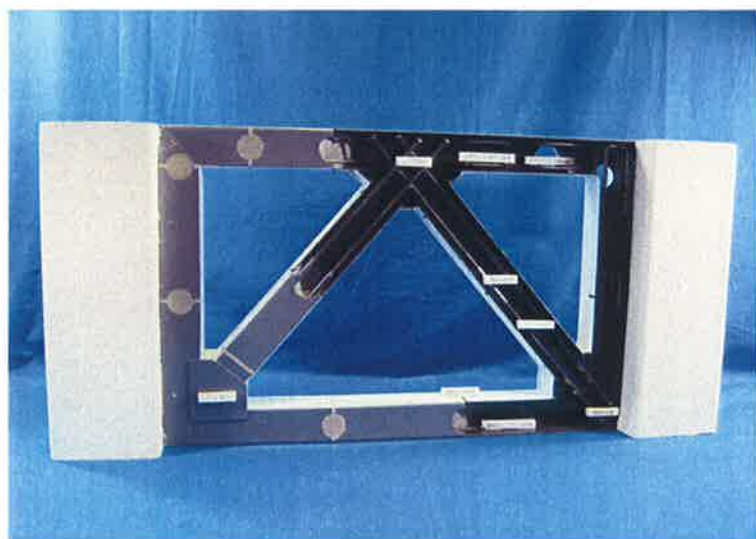
■ 3Q-Wall 工法及び 3Q-Brace 工法の技術 PR

(1) 以下の雑誌に、広告または技術紹介を掲載しました。

- ・ 雑誌：リフォーム、テツアド出版 2012 年 5 月号（研究会広告および技術紹介）
- ・ 雑誌：マンション Re2012、経済調査会 （技術紹介）
- ・ 書籍：既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル 2012 年版、建築研究振興協会（技術紹介）
- ・ 雑誌：はじめての耐震改修工事、日本建設業連合会 （技術紹介）
- ・ 雑誌：Ace 建設業界 2012 年 7 月号、日本建設業連合会 （技術紹介）

(2) 「リフォーム&リニューアル建築再生展 2012」において技術 PR を実施

7 月 18 日～20 日に「R&R 建築再生展 2012」が東京ビックサイトで開催されました。今回テーマは、3.11 後の耐震を改めて考えるという観点だったので、当研究会の「3Q-Wall 工法」および「3Q-Brace 工法」の PR を行いました。今回初めて展示する 3Q-Brace 模型は、精密かつリアルにできているので好評でした。3 日間の来場者数は、31,121 名でした。



3Q-Brace 模型



出展状況

■ 3Q-Wall 工法及び 3Q-Brace 工法の技術講習会を開催

3Q-Wall 工法及び 3Q-Brace 工法の技術講習会を例年通り、東京と大阪の 2 会場で開催しました。今年は、「東北地方太平洋沖地震を受けての行政の動向」、「3Q-Brace 工法の改善」、および

「3Q-Wall・Brace 不具合事例から学ぶ施工管理のポイント」の講演が行われ、より実務のための一助となる講演がありました。また、近年東京直下、東海・東南海・南海地震が危ぶまれる中、大林組技術研究所の佐野主任研究員に特別講演として「今後予想される巨大地震とその対応」を発表頂きました。

東京会場 平成 24 年 10 月 30 日 (火)

大林組品川本社 3 階講堂 (23 名 受講)

大阪会場 平成 24 年 11 月 2 日 (金)

大阪大林ビル 8 階 (39 名 受講)



東京会場：研修会風景

大阪会場：研修会風景

3Q-Wall の施工実績

「3Q-Wall 工法」は、2001 年 7 月に実用化されて以来、施工件数、施工面積とも増加しています。また、2010 年に実用化した「3Q-Brace 工法」も 3 年目となり、施工件数は、3 年で 8 件（施工面積 527.0m²）となっています。

3Q-Wall の施工件数と施工面積の推移

2012 年 11 月末現在

施工年	2004 以前	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
施工件数 (件)	48	25	19	25	30	23	35	19	19
施工面積 (m ²)	5262	3,924	4,682	4,475	3,704	2,025	3,435	1584	1,514
延べ件数 (件)	48	73	92	117	147	170	205	224	243
延べ面積 (m ²)	5262	9,186	13,868	18,343	22,046	24,071	27,506	29,090	30,604

3Q-Brace の施工件数と施工面積の推移

2012 年 11 月末現在

施工年	2010	2011	2012	2013	2014
施工件数	3	3	2		
施工面積 (m ²)	248.0	211.0	68.0		
延べ件数	3	6	8		
延べ面積 (m ²)	248.0	459.0	527.0		

新規入会 会員紹介

平成 23 年 12 月（総会）以降、以下の方々が新規に入会されました（敬称略）。

正 会 員： (株)富士機材

賛助会員： 阿波設計 ジェイアール西日本コンサルタンツ

2012 年 11 月現在で、特別会員 1 社、正会員 27 社、賛助会員 58 社、計 85 社となりました。

編集後記

東北地方太平洋沖地震が発生してから 1 年 8 カ月が経過し、詳細な被害分析および今後の課題が発表されています。被害分析において、耐震補強された建物は、耐震補強されていない建物の被害と比較して、大きな差があり、耐震補強の効果が実証されたと結論付けられ、耐震専門家および行政も異口同音に耐震補強の重要性を訴えています。更には緊急時の避難拠点である学校や病院は、耐震化もちろんのこと、避難所としての機能維持の観点からも補強の必要性まで言われ始めています。近年、東京直下、東海・東南海・南海地震が危ぶまれる中、耐震補強を加速させるために、行政も新たな政策を検討しています。10 月 29 日の日本経済新聞朝刊には、「マンションや病院等の多くの人々が利用する大規模建物に関して、耐震診断を義務化」という記事が掲載されました。この政策が実行されると、耐震補強に拍車がかかると予想されます。マンション・病院等は、24 時間使用しているので、建物を使いながら静かに、早く施工できる耐震補強工法が求められます。まさに 3Q-Wall のメリットと一致しますので、積極的にアピールし、工法の普及を通じて、安心・安全な社会づくりに取り組んでいきたいと考えています。

当研究会へのご意見、ご要望などが有りましたら事務局までご連絡ください。

3Q-Wall 工法研究会 事務局：

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 1-1 住友市ヶ谷ビル 11 階

株式会社 内外テクノス 東京商事部内 金巻 良太郎

Tel.03-5261-3415 / Fax.03-5261-3416